

Vol.11

# Your field

## ▼PICK UP

○ボランティア支援室とは？ —p. 2

○活動報告・・・他大学訪問 —p. 4

文房具プロジェクト —p. 5

○ボランティア体験記 —p. 6



2013年11月1日(金)発行

# ボランティア支援室とは？

みなさんは神奈川大学の「ボランティア支援室（ボラ室）」を知っていますか？  
今までに利用した方もいらっしゃると思いますが、まだ知らない人のために  
どんな所なのかをご紹介します！



## 1 ボランティア情報がたくさん集まる場所

ボランティア支援室には学内外から様々なボランティア情報が集まってきます。それらの情報は、ボランティア支援室内の掲示板に掲載されます。「環境」、「福祉」、「児童」など6種類のジャンルに分かれておりその中から自分に合ったものを探ることができます。



## 2 学生のボランティア活動をサポートする場所

ボランティア支援室では、ボランティアを探すところから、申込み、当日のボランティア活動までのサポートを学生スタッフがを行っています。大学生の間は時間があり何でも経験できるチャンスだと思いますので、少しでも興味のある方はぜひお越しください。



## 3 場所と開室日時

ボランティア支援室は19号館の305にあります。  
19号館は生協がある建物のことです。ドアの前には「ボランティア支援室」と書いた看板がありますので、見ていただければわかると思います。  
開室日時には、常に部屋の中に人がいるので、気軽に入ってみてください！

○【開室日】は月曜日から金曜日

○【時間】10時から17時まで(13時から14時は昼休み)開いています。



# 利用の仕方

前のページでは、「ボランティア支援室」についての紹介をしましたが、  
だいたいわかっていただけましたでしょうか？  
今度は実際に利用する方法をご紹介します！

## 1. 来室

ボランティア活動をしてみたい方は、まず  
一度ボランティア支援室にお越し下さい！  
開室中はほとんどの時間に学生スタッフが  
いるので、気軽に入ってきてくださいね。



!!welcome!!

## 2. ボランティア情報の閲覧

6つのジャンルに分かれたボランティア  
情報の中から、好きなものを選びます。  
やりたい分野がきまっていない方は、学  
生スタッフに相談してください。



## 3. 申し込み

やりたいボランティアが決まったら、ス  
タッフと一緒に申し込みの手続きを行  
います。また、実際にボランティアをす  
る場合には、ボランティア保険(300  
円)に加入していただきます。



## 4. ボランティア活動

当日は貴重な体験ができると思うので、  
ケガの無いように頑張ってください！

## 5. 体験レポート

ボランティア活動終了後、当日の様子  
や感想を聞かせていただきたいと思います。  
スタッフから連絡をしますので、ご協力  
をお願いします。



### ▼メールマガジン

横浜周辺で募集されているボランティア  
情報をメールで紹介します。配信頻度は月  
1回程度。下のアドレスに空メールを送って  
下さい☆

54001710@ra9.jp

### ▼Twitter アカウント

@volstaff

# 他大学訪問 (2013年6月~7月)



ボランティア支援室の運営に役立つために、自分達と類似した活動を行っている他大学を訪問しました。それぞれスタッフの方に案内して頂き、センターの見学、情報交換、意見交換を行いました。

## <東洋大学>

## <法政大学市ヶ谷キャンパス>



学生スタッフの方が、活動について教えてくれました。



学生スタッフとしての目標などが掲示されていて、活動に対する意識の高さを感じました。

## <明治学院大学白金キャンパス>

## <明治学院大学横浜キャンパス>



部屋の前にボランティア情報が多くあり、学生が入りやすい工夫がされていました。



年間で約1000人近くの学生が訪れるそうです。部屋がガラス張りになっていて、開放的な空間でした。

学生で運営している以上難しいことも多くありますが、出来ることからでいいのでスタッフがボランティア支援室をより多くの学生に利用してもらえるように考え、形にしていけたらいいと思います。初めての他大学訪問でしたが様々な情報を得ることが出来て非常に有意義な時間になりました。

## <関東学院大学>



ボランティアセンターの学生と記念写真♪



掲示板にはたくさんのボランティア情報が掲示してありました。

## 神奈川新聞花火大会 (2013年8月1日)

8月1日に行われた横浜の花火大会に合わせて、神奈川新聞社の協力を頂きボランティアを企画しました。学生がボランティアに少しでも興味を持ってもらい、楽しんでもらおうと考えたことがきっかけです。この企画の広報活動のために、7月の下旬に3日間、生協前で「出張ボランティア説明会」を行ないました。この説明会は、神大内のボランティア団体と協力して行ったもので、それぞれの団体が学生にボランティア情報を提供しました。この3日間で約30名の学生が花火大会のボランティアに応募してくれました。多くの学生に集まってもらい驚きましたが、ボランティアをしてみたいという人がたくさんいることを実感しました。

当日は多少の不手際でごたついたこともありましたが、それぞれの活動に無事取り組むことができました。いくつかのグループに分かれて行ったので活動内容も違いましたが、大きなトラブルもなく終えることができました。参加者に感想を聞くと、「またやってみたい」、「いろいろな人と交流できた」、「ボラ室に訪れてみたい」などと言ってくれました。今回の企画を通して、ボランティアへの関心を高めてくれた学生も多く、企画した甲斐がありました。参加してくださった学生の方、お疲れ様でした！そしてありがとうございました！

(人間科学部2年 中里誠志)



## 文房具プロジェクト (2013年4月~)

NGO法人「時遊人」の協力を頂き、「文房具プロジェクト」を行ないました。不要になった文房具を回収して、ベトナムやカンボジアの子どもたちへ自分たちの手で届けに行くものです。

4月から5月末までに大学内で文房具を集め、1566点の文房具を集めることができました。8月の中旬には、ボラ室スタッフ5人で、ベトナムまで直接届けにいきました。

ホーチミンの施設では子供たちが笑顔で接してくれて、私たちもたくさん元気をもらいました。折り紙を教えたり、歌を教えたりして、言葉が通じなくても交流ができることを改めて実感しました。

他のスタッフからは「もっと長い時間ふれ合いたかった」「子供が苦手だったけど、好きになった」「子供たちがはしゃいでいて、よってきてくれてうれしかった」「子供たちの笑顔は世界共通だった」などといった感想ができました。

たくさんの方の気持ちがかもった文房具を無事に子供達に渡すことができ良かったです。今回のプロジェクトで実際に体験しないとわからない部分が見え、自分自身の成長に繋がったのではないかと思います。

(外国語学部3年 中尾絵里)



ボラ室スタッフ  
**ボランティア  
体験記**

ボラ室スタッフが前期の間にいったボランティアを紹介します。ボランティアを選ぶときの参考にしてみてくださいね！



**「幸ヶ谷コミュニティーハウス」**

6月のはじめに、神奈川駅の近くにある幸ヶ谷コミュニティーハウスでイベントスタッフのボランティアをしました。ストラックアウトやプラバン作り、アフリカクイズのお手伝いをさせていただきました。小学生くらいの子供を中心に多くの方が来てくださいました。普段、子供と触れ合う機会が少ないので、良い機会になり、とても楽しく参加させていただきました。

(法学部2年 女子学生)

**「神大寺地区センター」**

7月7日に神大寺地区センターの七夕まつりのお手伝いに行ってきました。

毎年恒例で開催されている七夕まつりですが、今回、私は初めての参加で、水風船つりのブースをお手伝いさせていただきました。お客さんはほとんどが小さい子供たちで気温は30度近くあるのにとっても元気でした。おかげで水風船つりのブースは大盛況で、あっという間に完売してしまいました。子供たちが夢中になって水風船を釣っているのを見ると、なんだか私達も楽しくなってきた。「参加して良かった！」と心から思いました。

ボランティアは数多くありますが、子供と触れ合うボランティアでは自分も子供から元気もらえるので、機会があればまた参加したいと思います。  
(法学部3年 吉原葵)



**「ちょいボラ」**

中区社会福祉協議会が行っている、山下公園の清掃活動に参加しました。毎月1回、2時間程度のゴミ拾いなどをするボランティアです。参加してみると、大学生から主婦、企業単位での参加の方もいて気軽にたくさんの方とお話することができました。また、土曜日の午前中というどうしても怠けてしまいたくなる時間に清掃活動することで、気持ちのいい週末を迎えることができ、とてもよかったです。この活動は毎月行なっている活動であり、秋から冬は落葉も片付けるので、人手が必要らしいので、ぜひ参加してみてください！

**「ボランティア入門講座」**

神奈川区社会福祉協議会が行なっている、ボランティア入門講座に参加しました。ボランティア初心者の方を主な対象としています。まず、自分ひとりで無理をして活動をしなないなどといったボランティアに対する心構えについて楽しくお話を聞きます。そのあとは実際に車いすを扱う練習をします。自分が車いすに乗り、その感覚を知るのはもちろん、車いすを押す側の練習もしました。両方の立場を経験することにより、普段の生活では気づかなかった目線で知ることができました。この講座は毎月行なわれているので、ぜひ参加してみてください。

(法学部3年 網本しほり)



# Book Review

ボランティア支援室のスタッフが  
選びに選んだ(?)本を紹介します!



守本友美、吉田忠彦 著

『ボランティアの今を考える』

2013年、ミネルヴァ書房

最近では、ボランティアの定義をこれまでの3つの性格「自発性、社会性、無償性」に限定するのではなく、「自発的・主体的」として捉えるように変化しています。ボランティアといえば「福祉」のイメージがあると思いますが、今では「教育・環境・人権擁護」など幅広い分野におけるボランティア活動が行なわれています。ボランティアとは目的や対象、場所によって内容が全く異なり、また個人で参加するか集団で参加するかによっても、活動内容が変わってきます。また、ボランティアに参加して実際にどのような体験をしたのかなども本書には書かれており、ボランティアに興味を持つきっかけになると思います。これからボランティアをしてみようという方にお勧めの一冊です。

(経済学部3年鹿島佑太)



村井雅清 著

『災害ボランティアの心構え』

2011年、ソフトバンク新書

3月11日自分の目には衝撃的な映像が飛び込んできました。ショックとともに自分には何が出来るだろうと思ったのを覚えています。しかし自分も含め何をどうしたらいいか分からず悶々とした日々を過ごした人も多いのではないかと思います。そんな人にオススメの1冊です。数々のボランティア先で色々なボランティアを経験した先輩が分かりやすく解説してくれています。ボランティアをしたことが無いという人でもボランティア先への応募という第一歩から個人のニーズに対応できる「なんでもあり」なボランティアまで case by case に解説してくれているのでボランティア初心者にはよい道しるべとなってくれる本だと思います。

(経済学部2年高柳柊斗)

### ●編集後記●

前回の発行から約半年が経ち、ボランティア支援室の活動範囲も広げていくことができました。今回の広報誌では、そんな新スタッフを迎えてからの活動を振り返り、ご紹介させていただきました。いかがでしたか？

そもそもこの広報誌のタイトルである「your field」とは、あなたの夢（世界）を、ボランティアを通してみつけてもらいたいという思いから名づけられたものです。この広報誌を手にとってはじめてボランティア支援室のことを知った方も少なくないと思いますが、みなさんのボランティア活動のきっかけになれば嬉しく思います。

引退の時期が近づき、3年生が広報誌に携わることができるのも今回で最後となりました。3年生としてはさみしい思いもありますが、代が変わっても、ボラ室が学生をサポートする立場であることは変わりません。これからもボランティア支援室をよろしく願います☆気軽に訪ねてきてください！

HPリニューアルしました！

### ●広報誌担当●

人間科学部 3年	小松明日香
経済学部 3年	乾 裕貴
経済学部 2年	高柳 柊斗
法学部 2年	橋本 璃乃

【発行】 神奈川大学 学生ボランティア活動支援室  
【TEL】 045-481-5661（内線4435）  
【FAX】 045-481-2736  
【HP】 [http://www.kanagawa-u.ac.jp/volunteer\\_support/](http://www.kanagawa-u.ac.jp/volunteer_support/)  
【E-mail】 [ku.vol.center@gmail.com](mailto:ku.vol.center@gmail.com)